

施策評価調書【令和 7 年度実施事業】

政策名	7 地域が輝くまちの創生	関係課名	弥生振興局
施策名	3 人もまちも美しい快適居住空間のまち、弥生～ 弥生地域～		
総合計画頁	P102～103		

【1-1 主な取組】

主な取組	ア	イ	ウ	エ
	「道の駅やよい」を中心とした地域産業の活性化と周辺観光整備	住んでみたい・住み続けたいと思う美しいまちづくり	安全・安心に暮らすための災害に強いまちづくり	

【1-2 主な取組の実施状況】

主な取組	R 7 年度に実施した具体的な取組内容と成果	R 8 年度に実施予定の具体的な取組内容
ア	<p>(ア) 観光資源の見直しと SNS 等の情報発信による観光振興促進</p> <p>① デジタルの活用として、SNS、佐伯市や観光協会のホームページ等を活用し情報を発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報紙「もっと！やよい通信」を佐伯市ホームページに掲載（7月、11月） ・弥生フォトコンテストを実施した。住民や来訪者等の視点で撮影された“弥生の魅力”を SNS やホームページを活用し発信した。 （応募総数 46 点 優秀作品を弥生地域コミュニティセンター等で展示） ・弥生 Instagram の活用（フォトコンテストなどで活用） <p>② 情報紙「もっと！やよい通信」「弥生地域イベント情報」等のアナログの媒体も並行して作成し情報を発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報紙「もっと！やよい通信」を年 2 回（7月、11月）発行し、弥生管内の全世帯に配布 ・弥生地域イベント情報を 3 月に発行し、振興局、道の駅やよい、観光案内所、さくらホールへ配布 <p>(イ) 「やよいふるさとパーク」の整備活用</p> <p>① 交流人口の増加を目的に、フォトスポットとなるシンボルの作成や四季の森、寄り添う木、フットパスコースの維持管理等に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォトスポットの整備（木製ベンチを 2 脚作成し設置） ・椿ロードの草刈り ・ふるさとパーク内の草刈り <p>② 地域住民と協力して番匠川河川敷等の清掃活動や道の駅対岸の四季の森で植樹活動に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弥生の森と清流を守る会河川清掃ボランティア（9月：清掃 1月：清掃及び桜の植樹） <p>(ウ) 地域ブランドの開発や掘り起こし支援</p> <p>① 地域の特産品として引き続き、“蒸ししょうがパウダー”の販路拡大等に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ツール・ド・佐伯の弥生エイドで参加者に“生姜バター餅” “生姜コロッケ” “生姜サブレ” などの生姜製品を提供 ・商品紹介用の冊子を作成し、“生姜パウダー”の販売促進を図った。 	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1 R 7 年度と同事業を行う</p> <p><input type="checkbox"/> 2 新規事業を行う</p> <p><input type="checkbox"/> 3 改善を行う</p> <p><input type="checkbox"/> 4 その他</p> <p>※上記で 1 以外を選択した場合は、その内容を簡潔に記入</p>
イ	<p>(ア) 世代や分野ごとの人材及びリーダー育成に向けた取組</p> <p>① 道の駅やよいの出荷者を主な対象者として地元野菜の質の向上を目的に、タキイ種苗株式会社社員を講師に招き、野菜の品質向上や農業分野の人材育成に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜栽培講習会（参加者 34 名） <p>② 小中学校で地域の特色を活かした学習や地域との交流事業等を行い、将来の地域を担うリーダー育成に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弥生管内の小中学生を対象とした鮎のちよん掛け体験学習（小学校：71 名 中学校：65 名が参加） ・弥生管内の小中学生による生姜の植え付け、収穫体験学習 ・昭和中学校生徒による生姜の植え付け・収穫体験、調理実習 ・昭和中学校生徒による“ふるさと”をテーマにした演劇発表会 <p>(イ) 新たなコミュニティ組織づくりの取組及び住民の交流の場となる複合拠点の整備</p> <p>① 発足した“弥生地域コミュニティ協議会”に必要な規約、組織体、役員などを決定した。</p> <p>② 「複合拠点の整備」に向けて「弥生振興局等複合化施設整備検討「プロジェクトチーム会議」を開催し公共施設整備等検討委員の選考など整備に向けた協議を行なった。</p> <p>(ウ) コミュニティが連携した地域美化活動推進</p> <p>① にじいろこども園の園児とパンジーをプランターに植え、道の駅やよいに設置し景観美化に取り組んだ。また「天領床木コスモスプロジェクト」では、地元有志と連携しコスモス栽培に取り組んだ。（植付面積：約 2,000㎡）</p> <p>② 8 月に弥生地区クリーンアップ大作戦を実施し、地域美化に取り組んだ。（参加者 1,864 人）</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1 R 7 年度と同事業を行う</p> <p><input type="checkbox"/> 2 新規事業を行う</p> <p><input type="checkbox"/> 3 改善を行う</p> <p><input type="checkbox"/> 4 その他</p> <p>※上記で 1 以外を選択した場合は、その内容を簡潔に記入</p>
ウ	<p>(ア) 浸水や冠水が予想される場所の整備と関係機関への要望</p> <p>① 地区要望を基に現地調査を行い、関係機関に要望書を送付すると共に必要に応じて「佐伯創生地域基盤維持事業」により補修等に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区要望 168 件を関係機関に連絡・要望 ・里道、排水路の修繕等 14 件実施（約 490 万円） <p>(イ) 地域住民の防災意識・防災力高揚に向けた取組支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弥生管内小中学校及び防災に関する地域づくり団体と連携し「防災ワークショップ」「防災学習」「避難訓練」などを実施して、啓発に取り組んだ。 	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1 R 7 年度と同事業を行う</p> <p><input type="checkbox"/> 2 新規事業を行う</p> <p><input type="checkbox"/> 3 改善を行う</p> <p><input type="checkbox"/> 4 その他</p> <p>※上記で 1 以外を選択した場合は、その内容を簡潔に記入</p>

【1-3 主な取組（R7年度実施）による評価】

評価		評価理由	平均評価
ア	A	本年度は“弥生フォトコンテスト”を実施した。市民や来訪者等の目線から“弥生の魅力”を再確認することができ、応募作品の一部をSNS、ホームページに掲載することで、市内外へ弥生の魅力を発信することができた。観光資源の整備・活用については、やよいふるさとパークやフットパスコースの草刈り、清掃活動や植樹活動などを行った。また、今年度は“木製ベンチ”を2脚製作し、道の駅やよいや寄り添う木周辺に設置するなど、フォトスポットとして活用し、道の駅やよいや周辺地域のにぎわい創出を図った。地域ブランドの開発や掘り起こし支援については、“ツール・ド・佐伯”で弥生の生姜製品を提供しPRした。また、弥生産生姜の消費拡大を目指し“蒸ししょうがパウダー”の冊子を作成し販売所等に配置した。	A
イ	A	世代や分野ごとの人材及びリーダー育成に向けた取組を実施し、各分野の人材育成に資することができた。新たな地域コミュニティ組織づくりについては、設立準備会を立ち上げ、組織体制や規約作成、新たなコミュニティ組織でやってみたいことなどを協議した。“複合拠点の整備”については、プロジェクトチーム会議を行い、公共施設整備等検討委員会の委員選出に向けて選考を行った。	
ウ	A	地区要望については、令和7年度に弥生振興局で対応した件数は14件で、年度末の要望により予算の関係上対応出来ないものを除き実施することができた。国や県等が対応する要望については、様々な事情により実施出来ないものもあるが、可能な限り関係機関と調整を行い早期対応を目指した。また、弥生管内の小学校と地域団体などが連携した避難訓練、引き渡し訓練や防災デイキャンプ、防災講話を実施し、防災意識・防災力高揚に取り組んだ。	

【2-1 目標指標】

目標内容	基準値・年度	実績値【R7年度】	目標値（令和7年度）	目標値（令和9年度）
(1) 「道の駅やよい」の来場者数	303,427人 R3	343,015人	334,475人	350,000人

【2-2 目標指標による評価】

評価		評価理由	平均評価
(1)	A	令和7年度の実績値は343,015人であり、同年度の目標値（334,475人）を8,540人上回ったため。目標指数達成に向けては、フォトスポットとして“木製ベンチ”を製作し“道の駅やよい”やその周辺に設置したこと、また、「道の駅やよい」にイルミネーションを設置するなど様々な取り組みを行い、来場者数の増加に取り組んだ。	A

【3-1 重点プロジェクト】 ※各振興局所管の地域活性化分野のみ

重点プロジェクト名	
①	弥生にぎわいプロジェクト

【3-2 重点プロジェクトの具体的な実施状況評価】 ※各振興局所管の地域活性化分野のみ

	R7年度に実施した具体的な取組内容と成果	R8年度に実施予定の具体的な取組内容
①	<p>(ア) 情報誌「もっと！やよい通信」を年2回発行し、弥生管内の全世帯へ配布</p> <p>(イ) ふるさとパークの整備、活用（寄り添う木のマフラーとベンチ設置、道の駅やよいのイルミネーション）</p> <p>(ウ) 弥生フォトコンテスト開催（7月15日～12月10日）応募総数46点</p> <p>(エ) 弥生の森と清流を守る会河川清掃ボランティア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月：清掃活動（参加者：89名） ・1月：清掃活動及び桜の植樹（参加者：76名） <p>(オ) 「夏宵まつり☆弥生」8月30日（土）開催（来場者数：6,000人）</p> <p>(カ) 「番匠商工祭」9月14日（日）開催（来場者数：1,500人）</p> <p>(キ) 「大収穫祭」11月16日（日）開催（来場者数：5,000人）</p> <p>(ク) いっしょにたたこう！和太鼓の和。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ワークショップ」6回開催（参加者数：16名） ・「発表会」3月15日（日）開催（来場者数：270名） <p>(ケ) 食育・人権・防災から育む人づくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人権講演会」5回開催（参加者数：799名） ・「いのちをつなぐ集い」1回開催（聴講者数：148名） 	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1 R7年度と同事業を行う</p> <p><input type="checkbox"/> 2 新規事業を行う</p> <p><input type="checkbox"/> 3 改善を行う</p> <p><input type="checkbox"/> 4 その他</p> <p>※上記で1以外を選択した場合は、その内容を簡潔に記入</p>

【3-3 重点プロジェクト（R7年度実施）による評価】

評価		評価理由	平均評価
①	A	本年度は天候にも恵まれ「夏宵まつり☆弥生」を始めとした各種イベントも予定通り開催でき、にぎわい創出に寄与することができた。また、イルミネーション設置箇所を道の駅やよいに変更したほか、“木製ベンチ”を製作し、寄り添う木のマフラー設置期間中にフォトスポットとして設置するなど、さらなるにぎわい創出のため、新たな取組も行った。その他の取組についても、計画通り行うことができた。	A

【4 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	課題と今後の施策展開について
A	本年度は弥生フォトコンテストを開催したほか、「道の駅やよい」でのイルミネーション点灯や“木製ベンチ”の設置によるフォトスポットの創出などを行い、弥生地域の活性化に取り組んだ。今年度「道の駅やよい」の来場者数については、目標値を上回っているが、更なる交流人口の増加に向けて、SNSなどの情報発信に力を入れていく。また、「弥生地域コミュニティ協議会」が発足したことから、にぎわい創出に向けて緊密に連携協力を図っていく。